

授業科目名	地域母子保健(2300267)		
時間割名	地域母子保健(43209)		
時間割担当	服部律子		
実施期	前期	単位数	1 選択
曜日・時限	木・3		

授業の目標・概要

地域の母子と家族のニーズを思慮し、地域母子保健活動ができるための理論と方法を理解する。地域母子保健における助産師が果たす役割と具体的な地域母子保健活動の展開方法について学ぶ。また、演習を通して、母子保健上の問題と対策について既存の資料を分析し、助産業務のコーディネートについて理解を深めていく。地域社会の意味と概念やコミュニティについて理解し、そこでの展開されている母子保健の意義や実態について学ぶ。また助産師が行う家庭訪問についての演習を行う。演習については講師も担当する。

学習の到達目標

1. 地域母子保健活動関連した法律や制度を述べることができる。
2. 妊娠・出産包括支援の概念を説明することができる。
3. 母子保健統計の推移を踏まえ、地域母子保健活動における課題を考察することができる。
4. 地域母子保健活動の中で助産師が果たす役割について理解し、今後の役割について考察することができる。
5. 助産師が行う訪問事業の展開方法を理解し、家庭訪問のための基本的技術を習得できる。

授業方法・形式

講義・グループワーク・技術演習

授業計画

- 第1回 母子保健に関連した統計
母子保健に関する統計、女性の就労、家族形態、育児環境
- 第2回 母子保健行政1
母子保健行政の概要、健やか親子21(第2次)、妊娠・出産包括支援
- 第3回 母子保健行政2
法律、施策、その他の制度
- 第4回 母子保健行政と地域での助産師活動
助産師の役割、地域での助産師活動の実際
- 第5回 地域母子保健活動の取り組み
家庭訪問事業、家庭訪問のための技術
- 第6回 家庭訪問のための技術1
訪問の技術、診察技術、保健指導技術
- 第7回 家庭訪問のための技術2
模擬事例による総合演習
- 第8回 家庭訪問のための技術3
総合演習の振り返りとまとめ

成績評価の基準

筆記試験50%、総合演習の評価40%、各授業後のリフレクション10%

授業時間外の課題

各技術の自己トレーニングを行い、総合演習に向けた準備を行う。
母子保健統計の分析など、授業時に提示した課題に取り組む。
既習科目と関連付けながら、事前・事後の学習を行う。

メッセージ

地域においてどのような助産師活動が行われているのか、各自の居住地域での実際とも関連付けながら、積極的に受講されることを期待します。また、公衆衛生看護学での学びと関連付けて理解するようにしてください。

教材・教科書

我部山キヨ子編、助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健、医学書院

参考書

適宜、紹介する。